

平成 29 年度第 2 回 福岡市国民健康保険運営協議会議事録

1 日 時 平成 30 年 1 月 26 日 (金) 午後 5 時～午後 6 時 30 分

2 場 所 福岡ビル 9 階 大ホール

3 出席者

委員 (20 人中 18 人)

被保険者代表 (6 人中 5 人)

岩子委員 大森委員 小田原委員 中野委員 中村委員

保険医又は保険薬剤師代表 (6 人中 6 人)

長柄委員 平田委員 佐野委員 神田委員 今泉委員 田中委員

公益代表 (6 人中 5 人)

石田委員 濱崎委員 おばた委員 高山委員 中山委員

被用者保険等保険者代表 (2 人中 2 人)

飯田委員 上村委員

事務局

保健福祉局長 理事 総務部長 国民健康保険課長 他

4 議事事項

(1) 本日の会議の議事録署名人の選出について

被保険者代表 小田原委員

保険医又は保険薬剤師代表 田中委員

公益代表 中山委員

の 3 名を選出

(2) 議題

平成 30 年度福岡市国民健康保険事業の運営について【諮問】

国民健康保険の都道府県単位化について

事務局より資料の説明後、質疑を行った。

【 諮問事項等に関する質疑・意見 】

●委員

県単位化に伴い解消が求められている一般会計からの法定外繰入については、数年かけて解消を図るという話で、30年度は一定の法定外繰入により保険料水準に激変を招かないようにしたという説明だったが、資料 20 ページ（1）②に記載の解消対象の法定外繰入約 20 億円は、新年度予算に組み込まれる法定外繰入の総額になるのか。

○事務局

平成 30 年度予算案における法定外繰入の総額は約 37 億円であり、そのうち国から解消を求められているのは約 20 億円である。

●委員

法定外繰入の総額について、ここ数年の推移と、37 億円と 20 億円の差について説明を求める。

○事務局

まず、法定外繰入は、被保険者の保険料負担軽減のために行っており、毎年度の歳出や他の歳入の状況により金額が変動する。平成 28 年度は約 37 億円、29 年度は約 50 億円、30 年度は約 37 億円である。

次に、37 億円と解消を求められている 20 億円の差については、国において、決算補填や保険料の負担緩和以外のもので解消・削減すべき対象とはいえないと整理されているもので、福岡市の場合、特定健診などに係る費用、災害や所得減少などに伴う条例による保険料の減免分、子ども、ひとり親、障がい者に対する医療費助成制度の実施に伴う医療費増加分の補填などがある。

●委員

福岡市国保の一人あたり医療費と福岡県後期高齢者の一人あたり医療費について、県単位になったら県別でいくらか。

○事務局

福岡市国保の一人あたりの医療費は、資料 3 ページで示しており、高齢化の進展や医療の高度化により増加傾向であり、平成 30 年度予算案では 336,944 円と見込んでいる。福岡県の後期高齢者の一人あたり医療費は、平成 26 年度で約 118 万円と、全国で 1 番高い金額である。

●委員

後期高齢者の一人あたり医療費の全国平均は 93 万円、福岡市は 124 万円くらいなので、全国平均より一人あたり約 30 万円高い。具体的なデータを出してもらわないと、

議論できない。

○事務局

後期高齢者医療制度は 75 歳以上の方が加入する医療保険で、福岡県単位で運営されているものである。

この場合は、福岡市の国民健康保険の運営状況や、医療費の状況を説明する場であり、後期高齢者医療制度の医療費などについては資料に記載していない。

●委員

福岡市国保の一人あたり医療費 336 千円が全国平均と比較できないのは、非常に判断に迷う。

○事務局

本日の資料には載せていないが、福岡市国保の一人あたり医療費と全国平均との比較では、平成 21 年度までは福岡市は全国平均よりも高かったが、22 年度から全国平均を下回り、現在もその状況で推移している。

●委員

既に県単位で運営している後期高齢者医療では、医療費の差が大きい。そのため、国保の一人あたり医療費の推移も全国との差を知っておく必要がある。

●会長

後期高齢者医療費が非常に高いというのは、委員ご指摘のとおりで、国保や後期など全体として医療費適正化に努めていく。これが国民的課題である。今後も医療費適正化に向けて議論や施策を進めてほしい。

●委員

資料 6 ページで、今回の一人あたり保険料の諮問は、医療給付費分を 39 円引下げて後期高齢者支援金分の 39 円引上げと相殺して据え置き、介護納付金分は引下がるため、全体で引上げにならず最悪のことにはならないというものだが、毎回申し上げているとおり、この水準での据え置きでいいのか。医療費分をさらに引下げることで、全体の保険料をさらに引下げて負担を減らせないのか、所見を問う。

○事務局

今回の保険料の諮問について、医療分と支援分の合計を据え置くために、税金を財源とした一般会計からの法定外繰入金を投入している。

国民健康保険は医療保険制度であるため、必要な医療費などから財源を引いた部分を、原則として、加入している被保険者の保険料で賄うという社会保険制度であるが、被保険者の年齢構成が高く医療費水準が高いことや、低所得者が多く所得水準が低いという構造的な問題から、保険料負担が重くなっている。被保険者に過重な負担を求めること

は困難であるため、一定程度の保険料の負担軽減を図る観点から、平成 23 年度から同額の 71,999 円に据え置いている。

●委員

葬祭費について、福岡市の現状 5 万円が県単位化に伴い 3 万円に減額される。5 万円の根拠を尋ねる。

○事務局

福岡市の葬祭費は、平成 18 年 10 月から 5 万円に設定している。これは、健康保険法の改正に伴い、健康保険について 5 万円に定められたことに合わせて 5 万円に設定した。

●委員

今回、県内統一の 3 万円に合わせるの、改正の考え方と整合性が崩れると思うが、どうか。

○事務局

葬祭費の支給は、国民健康保険法に定められており、支給額は、各市町村が条例で定められている。

葬祭費は保険給付であり、被保険者に保険料で負担してもらうのが原則であるため、5 万円に据え置くとなれば、被保険者の保険料負担などの増加を招く要因にもなる。また、県単位化により福岡県では、県内の医療費適正化の取組みなどを進め、市町村の医療費水準を合わせながら、最終的には保険料の均一化を目指すこととしていることから、任意給付である葬祭費についても統一化できるものとして福岡県国保運営方針において 3 万円に統一することが定められており、福岡市においても運営方針に沿い、引下げの諮問をした。

●委員

基本的に金銭面におけるバランスシートとして市民にあまり負担をかけない計画を立てるのは理解できるが、根本的に健康増進によらないと、国保の財政面は解決しない。資料 18 ページに糖尿病性腎症重症化予防事業などがあるが、厚生労働省のプログラムには、歯周病も含まれており口腔歯科関係も貢献できるので、歯科の取組みについても考えていただきたい。

●会長

最近では口腔外科の問題から派生して、いろいろな病気の予防などが盛んに言われているが、その点はどうか。

○事務局

ご指摘の内容については承知しているが、まずは、病状が進行すると透析につながることから、高額医療を防ぐため、糖尿病性腎症重症化予防に着手したい。現在、データ

ヘルス計画の策定中であり、その中で平成 30 年度以降の保健事業について検討しているため、歯科関連の健康づくり事業についても今後は、検討していきたい。

●委員

福岡県の後期高齢者医療費が高い要因としては、入院医療費が高いため外来が高いわけではない。ベッド数や医師が多いことなども考えられる。また、心筋梗塞などで救急搬送され、救急医療により医療費も高くなる。

医療費が低い長野県と福岡県の違いは、長野県は年をとっても仕事があり、必要とされているが、福岡県は独居率が高く、定年後は仕事が少ないという状況が病気になることもあるだろう。今後は、そういう仕組みで未病の状態をできるだけ保つ必要がある。

●委員

福岡県だけが 13 年間ずっと一番高い。他県や政令市と比較検討したいため、データを示してほしい。

●会長

医療費の違いは、地域の特性、食生活や気候の問題、医療の受診環境などいろんな要素が絡んでいる。一般的に医療費は、西高東低と言われていて、概ね、西日本の方が高い傾向にあり、これから全体として取り組んでいくなかで随時、データも示してもらいたい。

●委員

医療費が高いという現状を踏まえて、福岡市がどうしていくかを議論されなければならない。生涯現役で 100 歳時代と言われており、これからは、健康寿命を延伸させるために、福岡市全体としてどう取り組むかが重要である。

福岡市の人口が増えている要因には、医療機関の充実など安心して住める環境にあり、その結果医療費が増えてしまうのではないか。過去のデータだけでなく、これから医療の適正化を図るために各団体がどのように取り組むのか、議論していければと思う。

●会長

国民健康保険の県単位化という大きな流れのなかで、公平を図る観点から葬祭費などは県内で統一しなければならず、また、今後は福岡市が中心となって、市と県が連携しながら、県全体での医療費適正化の取組みについて議論を進めてもらいたい。

第 3 回の協議会では、本日出なかつたような意見も踏まえて審議していただき、そのうえで答申案としてまとめたい。

それでは本日の会議を終了する。